

事 務 連 絡

平成28年10月28日

各都道府県市町村担当課 御中

総務省地域力創造グループ地域自立応援課

定住自立圏の各圏域におけるPDCAサイクル構築に当たっての
成果指標（KPI）等の例について

定住自立圏構想の各圏域におけるPDCAサイクルの構築については、平成28年9月23日付け総行応第295号により要請したところですが、成果指標等の参考事例を別紙のとおり取りまとめたので送付します。

なお、別紙に示すものはあくまで例示であり、各圏域の特性に応じ、適切な成果指標等を検討いただきますようお願いいたします。

参考事例は、今後、各圏域において実際に設定される成果指標等をもとに、追加的に情報提供する予定です。

各都道府県におかれましては、貴都道府県内の市町村に対しても周知されるようお願いいたします。

総務省地域力創造グループ地域自立応援課

担当：三木、北島

連絡先：03-5253-5391

成果指標（KPI）等の例

1 趣旨

平成 28 年 9 月 23 日付けで定住自立圏構想推進要綱（平成 20 年 12 月 26 日総行応第 39 号。以下「要綱」という。）を改正するとともに、同日付で技術的助言を発出し、各圏域において、定住自立圏形成協定等に基づき推進する具体的取組について、定住自立圏共生ビジョンにおいて成果指標（KPI）等を設定するとともに、その達成状況等を踏まえた施策や事業の PDCA サイクルを構築することを要請しました。

以下にお示しするのは、各圏域の取組を参考にしながら作成した成果指標等の例になります。これらはあくまで例示であり、実際の指標設定に当たっては各圏域において、その地域特性を踏まえ、指標を検討・設定いただくことが重要です。

2 圏域の将来像について

要綱第 6（3）②により、定住自立圏の将来像には、将来推計人口を踏まえつつ算出した、定住自立圏の取組の結果実現されるべき中長期的な将来の人口や高齢化率等の目標を含むこととしています。

人口については、人口数自体の目標を設定するほか、社会人口増減や自然人口増減の目標をあわせて設定することも考えられます。

高齢化率については、高齢者人口数により把握することも考えられます。あわせて、若年者比率や若年層の人口数を記載することも考えられます。

※ 圏域人口の目標については、「日本の将来推計人口」（国立社会保障・人口問題研究所）を参考にするとともに、各市町村で定めている「地方人口ビジョン」の人口目標との整合も図りながら設定することが考えられます。

・圏域人口

※人口総数に替え、社会人口増減数や自然人口増減数を設定することも考えられる

平成 22 年	平成 27 年	平成 37 年（目標）	平成 52 年（目標）
●●人	●●人	●●人	●●人

・高齢化率

※高齢化率に替え、若年者比率を設定することも考えられる

平成 22 年	平成 27 年	平成 37 年（目標）	平成 52 年（目標）
●●%	●●%	●●%	●●%

このほか、上記の目標以外にも、昼夜間人口比率等の圏域の自立性に関する目標の設定や、住民アンケートの実施結果等により示される圏域の姿を、将来像として定めることも考えられます。

・ 圏域全体の昼夜間人口比率

●●（平成〇〇年）→●●（平成〇〇年）

・ 中心市と各構成市町村間の通勤通学割合

A市・B市間 ●●%（平成〇〇年）→●●%（平成〇〇年）

A市・C町間 ●●%（平成〇〇年）→●●%（平成〇〇年）

・ 圏域に住み続けたいと思う住民の割合（圏域住民へのアンケートで把握）

●●%（平成〇〇年）→●●%（平成〇〇年）

3 成果指標及び基本目標について

前述のとおり、今般の要綱改正により、各圏域において、定住自立圏共生ビジョンに、定住自立圏形成協定等に基づき推進する具体的な取組について、成果指標を設定することとしています。この成果指標については、各圏域において、個々の事業単位又は複数の事業を包含した施策単位のいずれか検証を行いやすい単位で定めるようお願いいたします。

また、可能な限り、「医療・福祉」「産業振興」「地域公共交通」等の政策分野ごとに、取組の全体的な方向性を示すための基本目標を設定するようお願いいたします。

基本目標や成果指標については、定量的な成果を把握するため、数値目標を設定することが望ましいところですが、数値目標の設定が難しい場合には、進捗管理が可能な形で定性的目標を定めることや、アンケート調査により圏域住民の満足度を計ること等が考えられます。アンケート調査については、圏域として新規に実施するほか、構成市町村で既に実施している調査に共通項目を設けるなどにより実施することも考えられます。

以下では、政策分野のうち、特に取り組んでいる圏域が多い「医療・福祉」「産業振興」「地域公共交通」の3分野において、具体的な基本目標及び成果指標の事例を示すものです。

取組の進捗管理を行うためには、成果指標について、【現状の実績値】と【〇年後の目標値】を合わせて記載し、明らかにすることが有効ですが、新たに指標を設定する等のため、現状の実績値の把握が困難な場合も考えられます。その場合、平成28年度はまずは指標の設定のみとし、速やかに実績値の把握を行い、平成29年度に行う定住自立圏共生ビジョンの改訂に合わせて実績値を記載する対応も考えられます。

(1) 医療・福祉分野における例

医療・福祉分野においては、各圏域において、関係医療機関の連携を通じた一次救急・二次救急の医療体制の確保や医療従事者の養成・確保等による圏域の医療の充実、子育て環境の充実、高齢者福祉の増進等による圏域の福祉提供体制の充実等が図られているところです。

このため、基本目標や成果指標についても、サービスの供給体制の維持・確保に関する指標や、それによって得られる効果に関する指標を定めることが考えられます。

① 基本目標として考えられる例

- ・ 圏域住民の平均寿命 ●●歳（平成〇〇年）→●●歳（平成〇〇年）
- ・ 医療体制に「満足している」と回答する住民の割合（圏域住民のアンケートで把握）
●●%（平成〇〇年） → ●●%（平成〇〇年）
- ・ ■■医療圏における救急搬送の完結
患者流出の割合 ●●%（平成〇〇年）→●●%（平成〇〇年）
※消防本部と連携して算出
- ・ 入院・外来患者の受療動向（圏域内での供給率、圏域外への流出率）
※国民健康保険のレセプトデータをもとに算出
- ・ 出生数 ●●人（平成〇〇年）→ ●●人（平成〇〇年）

- ・ 合計特殊出生率 1.●●（平成〇〇年）→ 1.●●（平成〇〇年）
- ・ 0～9歳人口 ●●人（平成〇〇年）→ ●●人（平成〇〇年）
- ・ 子育て環境に「満足している」と回答する住民の割合（圏域住民のアンケートで把握）
- ・ 55～64歳世代の社会人口動態 ●●人（平成〇〇年）→ ●●人（平成〇〇年）

② 事業単位の成果指標として考えられる例

【救急医療体制の確保】

事業名		在宅当番医制の運営		関係市町村名
重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）	
	参加機関数	●●件（平成〇〇年）	●●件（平成〇〇年）	
	受診者数	●●人（平成〇〇年）	●●人（平成〇〇年）	

事業名		病院群輪番制の運営		関係市町村名
重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）	
	参加機関数	●●件（平成〇〇年）	●●件（平成〇〇年）	

事業名		ドクターカー運行事業		関係市町村名
重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）	
	ドクターカー一出動件数	●●件（平成〇〇年）	●●件（平成〇〇年）	

【適正受診の推進】

事業名		中核的病院と診療所相互間の患者紹介		関係市町村名
重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）	
	紹介件数	●●件（平成〇〇年）	●●件（平成〇〇年）	
	紹介率	●●%（平成〇〇年）	●●%（平成〇〇年）	

事業名		適正受診の啓発講義の実施		関係市町村名
重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）	
	啓発講義への参加者数	●●人（平成〇〇年）	●●人（平成〇〇年）	

事業名		電話相談事業		関係市町村名
重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値 (調査時点)	目標値 (達成年度)	
	電話相談の件数	●●件 (平成〇〇年)	●●件 (平成〇〇年)	

【医師、看護師等の確保】

事業名		医師、看護師等養成奨学金事業		関係市町村名
重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値 (調査時点)	目標値 (達成年度)	
	奨学制度利用者数	●●人 (平成〇〇年)	●●人 (平成〇〇年)	
	奨学生の圏内での就職割合	●●% (平成〇〇年)	●●% (平成〇〇年)	

事業名		中心市から近隣市町村への医師派遣事業		関係市町村名
重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値 (調査時点)	目標値 (達成年度)	
	派遣医師数	●●人 (平成〇〇年)	●●人 (平成〇〇年)	

事業名		電子カルテによる診療情報共有		関係市町村名
重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値 (調査時点)	目標値 (達成年度)	
	設備導入の医療機関数	●●件 (平成〇〇年)	●●件 (平成〇〇年)	

【児童福祉の推進】

事業名		保育サービスの広域実施 (通常保育、一時預かり、休日保育等)		関係市町村名
重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値 (調査時点)	目標値 (達成年度)	
	参加機関数	●●件 (平成〇〇年)	●●件 (平成〇〇年)	
	利用者数	●●人 (平成〇〇年)	●●人 (平成〇〇年)	

事業名	病児・病後児保育事業		関係市町村名
重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）
	参加機関数	●●件（平成〇〇年）	●●件（平成〇〇年）
	利用者数	●●人（平成〇〇年）	●●人（平成〇〇年）

事業名	ファミリーサポートセンター事業		関係市町村名
重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）
	参加機関数	●●件（平成〇〇年）	●●件（平成〇〇年）
	利用者数	●●人（平成〇〇年）	●●人（平成〇〇年）

【高齢者福祉の推進】

事業名	高齢者福祉施設の共同利用		関係市町村名
重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）
	参加機関数	●●件（平成〇〇年）	●●件（平成〇〇年）
	利用者数	●●人（平成〇〇年）	●●人（平成〇〇年）

事業名	介護認定審査会の共同設置		関係市町村名
重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）
	審査件数	●●件（平成〇〇年）	●●件（平成〇〇年）

事業名	認知症サポーター育成事業		関係市町村名
重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）
	登録者数	●●人（平成〇〇年）	●●人（平成〇〇年）

事業名	成年後見等の共同実施		関係市町村名
重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）
	相談件数	●●件（平成〇〇年）	●●件（平成〇〇年）

③ 施策単位の成果指標として考えられる例

【救急医療体制の確保】

- ・ 24時間365日の救急医療体制の維持

【適正受診の推進】

- ・ 圏域の中核的病院の受診者数の減少 ●●人（平成〇〇年）→●●人（平成〇〇年）

【医師、看護師等の確保】

- ・ 医師（、看護師等）数 ●●人（平成〇〇年）→●●人（平成〇〇年）

【児童福祉の推進】

- ・ 保育所入所率 ●●%（平成〇〇年）→ ●●%（平成〇〇年）
- ・ 保育士数 ●●人（平成〇〇年）→ ●●人（平成〇〇年）
- ・ 保育所数 ●●箇所（平成〇〇年）→ ●●箇所（平成〇〇年）
- ・ 里帰り出産の件数 ●●件（平成〇〇年）→ ●●件（平成〇〇年）

【高齢者福祉の推進】

- ・ 老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅等の数 ●●件（平成〇〇年）→●●件（平成〇〇年）
- ・ 成年後見制度等の近隣市町村住民の利用割合 ●●%（平成〇〇年）→●●%（平成〇〇年）

(2) 産業振興分野における例

産業振興分野においては、各圏域において、広域観光振興、企業誘致、農林水産業の振興、鳥獣被害防止等の取組が行われているところです。産業振興分野については、客観的な各種統計情報も多く公開されていることから、各圏域において、こうした情報の中から選択して指標を設定することも考えられます。

① 基本目標として考えられる例

- ・ 事業者数、従業者数
 - 箇所、●●人（平成〇〇年）→●●箇所、●●人（平成〇〇年）※経済センサス
- ・ 観光客入込数 ●●人（平成〇〇年）→ ●●人（平成〇〇年）
- ・ 設備投資額、製造品出荷額
 - 円（平成〇〇年）→ ●●円（平成〇〇年）※工業統計調査
- ・ 一人当たり所得額 ●●円（平成〇〇年）→ ●●円（平成〇〇年）※個人住民税収から計算
- ・ 大卒者の圏域内就職率 ●●%（平成〇〇年）→ ●●%（平成〇〇年）
- ・ 耕地面積 ●●ha（平成〇〇年）→ ●●ha（平成〇〇年）

② 事業単位の成果指標として考えられる例

【圏域観光の振興】

事業名	広域観光のプロモーション実施（イベント実施、パンフレット制作、ホームページ開設等）		関係市町村名
重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）
	イベント来場者数	●●人（平成〇〇年）	●●人（平成〇〇年）
	パンフレット発行数	●●部（平成〇〇年）	●●部（平成〇〇年）
	HP 閲覧数	●●件（平成〇〇年）	●●件（平成〇〇年）

【企業誘致】

事業名	企業誘致等の推進（工業団地への誘致、サテライトオフィスやテレワーク誘致、創業支援）		関係市町村名
重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）
	工業団地の進出企業数	●●社（平成〇〇年）	●●社（平成〇〇年）
	サテライトオフィス開設社数	●●社（平成〇〇年）	●●社（平成〇〇年）

【農林水産業の振興】

事業名	農業の担い手支援、農産物プロモーション（新規就農者への支援金交付、研修会の実施、農産物のブランド化）		関係市町村名
重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）
	助成件数	●●件（平成〇〇年）	●●件（平成〇〇年）
	研修会参加者数	●●人（平成〇〇年）	●●人（平成〇〇年）
	商品化件数	●●件（平成〇〇年）	●●件（平成〇〇年）

【鳥獣被害の防止】

事業名	有害鳥獣の捕獲		関係市町村名
重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）
	捕獲頭数	●●頭（平成〇〇年）	●●頭（平成〇〇年）

③ 施策単位の成果指標として考えられる例

【圏域観光の振興】

- ・観光客入込数 ●●人（平成〇〇年）→ ●●人（平成〇〇年）

【企業誘致】

- ・中心市街地での ICT 関連雇用者数 ●●人（平成〇〇年）→ ●●人（平成〇〇年）

【農林水産業の振興】

- ・作付面積 ●●ha（平成〇〇年）→ ●●ha（平成〇〇年）
- ・就農者数 ●●人（平成〇〇年）→ ●●人（平成〇〇年）

【鳥獣被害の防止】

- ・農業生産への被害額 ●●円（平成〇〇年）→ ●●円（平成〇〇年）

(3) 地域公共交通分野における例

地域公共交通分野においては、各圏域において、バス、乗合タクシー等の運行、鉄道駅施設等の整備などの取組が行われているところです。

基本目標や成果指標としては、圏域の公共交通の確保状況に関する指標を設定することが考えられます。

① 基本目標として考えられる例

- ・ 交通空白地帯の解消
圏域内全体での交通手段確保の継続
- ・ 中心市の駅施設の利用者数
●●人（平成〇〇年） → ●●人（平成〇〇年）

② 事業単位の成果指標として考えられる例

【バス、乗合タクシー等の運行】

事業名	バス、乗合タクシー等の運行（コミュニティバスや乗合タクシーの運行、バリアフリー化、高齢者の運賃助成、スクールバスの運行等）		関係市町村名
重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）
	利用者数	●●人（平成〇〇年）	●●人（平成〇〇年）
	高齢者の運賃助成制度 利用人数	●●人（平成〇〇年）	●●人（平成〇〇年）
	バス運行路線数の維持	●●路線（平成〇〇年）	●●路線（平成〇〇年）

【鉄道駅施設等の整備】

事業名	鉄道駅施設のバリアフリー化		関係市町村名
重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）
	利用者数	●●人（平成〇〇年）	●●人（平成〇〇年）

③ 施策単位の成果指標として考えられる例

- ・ 利用者数 ●●人（平成〇〇年） → ●●人（平成〇〇年）
- ・ バス運行路線数の維持 ●●路線（平成〇〇年） → ●●路線（平成〇〇年）